

埼玉の名テレイン復活

埼玉 O-FESTA 2007 年 12 月 09 日 埼玉県越生町

木村佳司

20 年の眠りから覚めた埼玉の名テレイン。参加者の体力と知力に立ちはだかる。

2007 年 12 月 9 日 埼玉 O-FESTA
埼玉県越生 (おごせ) 町

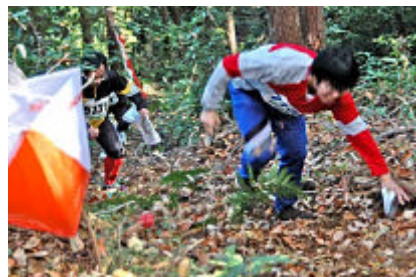
難攻不落の山城

戦国武将なら聳える山城を攻めあぐねただろう。そんな急峻な地形が広がる埼玉県越生町の西部にひろがるテレインで埼玉 O-FESTA は開催された。急峻なだけではない、激しく変化する植相、うねる地形に参加者は翻弄された。一度ミスをして下ると、登り返しに時間がかかる。そんな難攻不落の山城を前に討ち死にする者多数。ミスした参加者を容赦なく葬むり去った。そんな中、ミスを最小限に抑え、山岳テレインを走りきった体力のある勇者たちが栄冠を手にしたのだ。

難度の高いテレイン

スタートフラッグを見た瞬間目を疑った。登り坂が二次方程式($y = x^2$)のカーブを描いている。多くの参加者はここで歩きが入るだろう。最初から年配者には厳しいコースだ。ここをガマンしてゆっくり尾根線まで走り上がると、尾根辿りの楽しいオリエンタリングが始まる。

小径が全般的に不明瞭だ。林業用として過去に整備したが現在は使用されていない小径が殆どである。急斜面であるがゆえに動物の通ったようなケモノ道があちこちにあり、地図に表記できないような通り易いところが点在している。こうしたところがテレインの難易度を上げているのだ。それゆえ年少者クラスや初級クラスには難易度が高かったところもあったようだ。



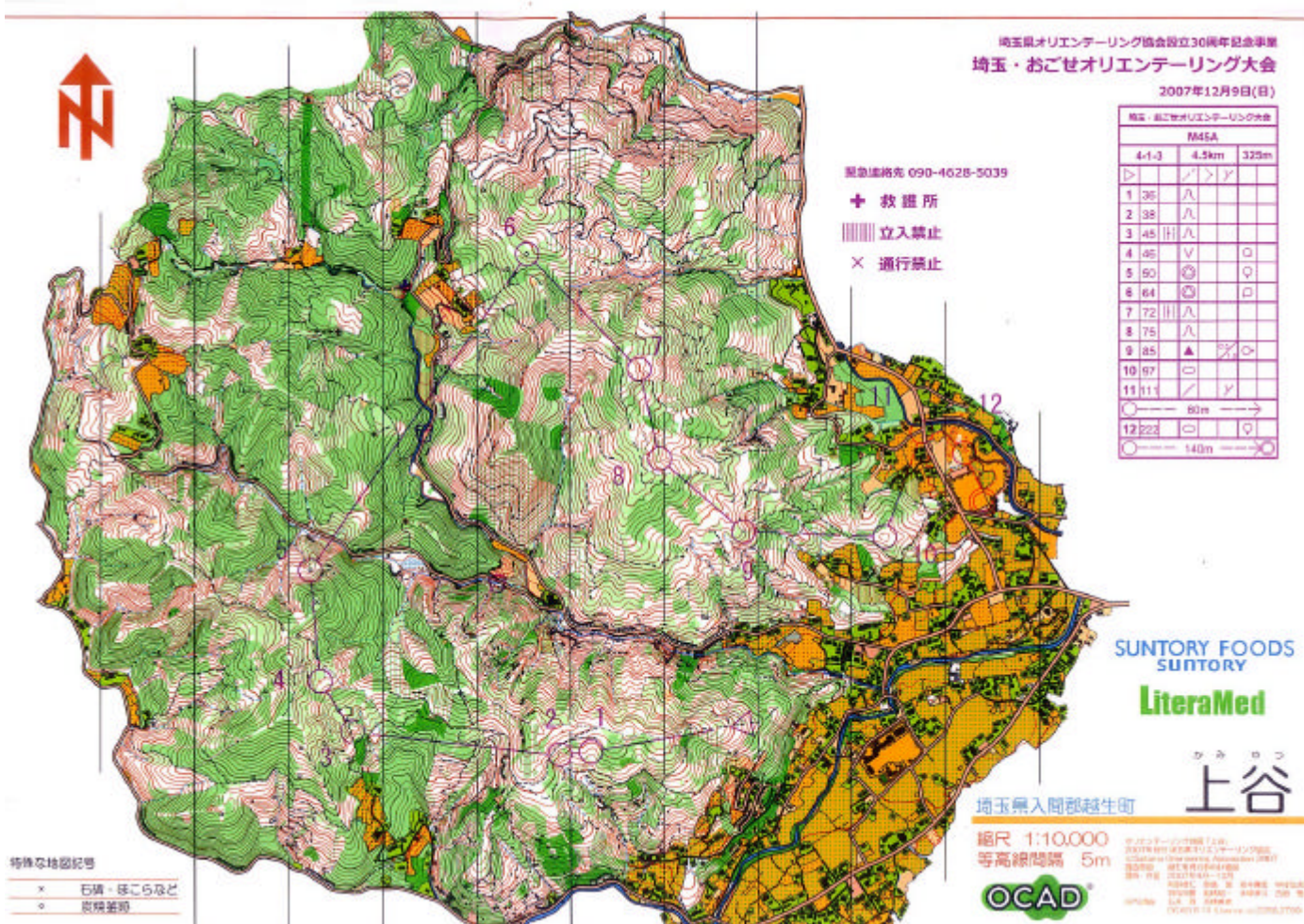
スタートフラッグまでの登りですら厳しい

親子二世代で選手権

今回、成績を見ていて気付いたのは高野由紀(母)と高野美春(娘)の親子二世代がWEクラスで競い合っていることだ。これはすごい。

母の高野由紀が過去に何度も日本チャンピオンにもなったことのある名オリエンティア。2002年3月の全日本大会でも優勝している。

娘の高野美晴は高校生のうちからジュニア世界選手権を走っている。今年から大学生になり、1年生ながらインカ



レロングでは選手権を走り、入賞まであと一步の7位に入る健闘ぶり。そしてジュニアエリートからいよいよシニアエリートクラスにも挑戦してきている。

まだまだ母のほうが強いようだが、早く母を追い越し、その先に広がる世界に飛び込んで欲しい。



母娘二世代で選手権クラスに挑む高野家
写真はインカレロングを走る高野美春

選手権クラス上位結果

M21E - 8300m 625m		
1	紺野俊介	1:21:37 横浜 OLC
2	鹿島田浩二	1:21:50 渋谷で走る会
3	柳下 大	1:25:56 Forester
4	寺垣内航	1:27:29 京葉 OLC
5	松澤俊行	1:29:32 三河 OLC
6	小泉成行	1:31:00 ときわ走林会
W21E - 5700m 360m		
1	渡辺円香	1:21:01 ES 関東 C
2	朴峠周子	1:28:11 ときわ走林会
3	石山佳代子	1:29:37 横浜 OLC
4	齋藤早生	1:31:29 Team 白樺
5	高野由紀	1:31:43 入間市
6	加納尚子	1:41:00 朱雀 OK



ダントツの成績で女子優勝の渡辺円香

優勝者結果

M70A	高橋 厚	1:15:09	多摩 OLC
M65A	河村健二	0:44:32	三河 OLC
M60A	大場隆夫	1:05:01	サン・スーシ
M55A	新家秀男	1:00:53	中京 OC
M50A	五十嵐則仁	1:13:59	横浜 OLC
M45A	小山 清	0:54:53	京葉 OLC
M40A	田代雅之	1:02:35	静岡市
M35A	富田吉郎	1:07:02	館林 OLC
M21A	林 泰人	1:05:26	仙台市
M21AS	大久保裕介	1:23:49	ES 関東 C
M20A	八重樫集	1:05:39	東北大 OLC
M18A	湊 洋平	0:50:50	武相 OLK
M15A	中島弘誠	1:25:20	静岡 OLC
M12	宮本 樹	0:31:46	京葉 OLC
MBL	榎本 洋	0:59:11	川越 OLC
MBS	平岩金男	2:16:04	春日部 OLC
W60-65A	加藤伶子	1:01:08	入間市 OLC
W50-55A	高橋明美	1:05:16	大和市
W40-45A	齋藤まどか	1:11:55	川越 OLC
W35A	長友美子	1:37:27	千葉 OLK
W21A	広江 望	1:07:50	ES 関東 C
W21AS	植松 彩	2:15:26	入間市 OLC
W20A	鈴木聡子	0:49:40	東北大
W12	長柄星那	0:34:25	熊谷市
WBS	大塚ふみ子	1:10:57	千葉 OLK
MN	峰村拓也	0:31:30	
WN	山口静子	0:30:08	
OAL	源後知行	1:27:35	ぞんび~ず
OAS	保呂 毅	1:06:35	えびす走会
OB	井上幹男	0:48:27	東京 OLC
G	宮川早穂	0:26:54	ももご隊
	北信越男子 木村隆二	0:46:09	新潟大
	北信越女子 仲 真子	1:04:22	金沢大
	筑波男子 大杉祥二	1:10:57	筑波大
	筑波女子 千葉 妙	0:48:02	筑波大

穏やかな晩秋

暦の上ではすっかり冬。だが0-FESTAが行われた週末は穏やかな天気恵まれた。葉っぱの落ちた丘陵は晩秋の霽困気。おだやかでまだ暖かい。これから到来する冬将軍を前に一息入れたような天気だ。

会場は「ウエルサンピアおごせ」。入浴施設があるという極楽会場だ。レース後に汗を流し、疲れた体をほぐしてキモチよいまま家路につくことができる。

駐車スペースも充分確保されアクセスもラクラク。充実した給水所をはじめ運営側も十分な気合をもって望んだ大会だった。



男子選手権クラスに挑戦した番場洋子
男子に混じって18位。男子に比べてトップスピードは無いがミスが少ない。周囲は秒差の競い合いとなっている。日本の男子選手権は世界選手権の女子とほぼ同じレベル。

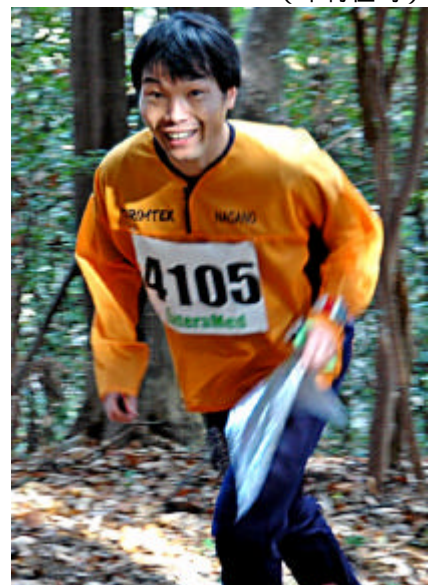
生まれ変わったテレイン

今回のテレイン「上谷(かみやつ)」は20年前に全日本大会が開催されたテレインでもある。その時の地図名は「梅園(ばいえん)」。その後このテレインは練習会などに使われることはあっても大規模大会に使用されることは無かった。

20年前の地図と今回の地図を並べて見るとテレインの変貌ぶりが良く判る。植林地は成長し、林業用作業道は消滅している。大規模舗装道路が森の奥まで造成されている。

GPS 測量で生まれ変わった今回のテレインは今後も埼玉の行事で使われて行くことになるだろう。

(木村佳司)



スタートから1番に向かう途中の木村